平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年８月２日

上場会社名	ぷらっとホーム株式会社		上場取引所　東
コード番号	6836　　ＵＲＬ　http://www.plathome.co.jp/		
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）鈴木　友康	
問合せ先責任者	（役職名）管理部長	（氏名）高橋　誠二	ＴＥＬ　03-5213-4376
四半期報告書提出予定日	平成25年８月12日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第１四半期の業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

（１）経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	214	△9.4	△80	―	△80	―	△80	―
25年３月期第１四半期	236	10.1	△98	―	△99	―	△103	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第１四半期	△6,384.98	―
25年３月期第１四半期	△8,132.10	―

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第１四半期	1,883	1,643	87.3
25年３月期	2,017	1,724	85.4

（参考）自己資本　　26年３月期第１四半期　　1,643百万円　　25年３月期　　1,724百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年３月期	―				
26年３月期（予想）		0.00	―	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年３月期の業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	605	13.9	△63	―	△63	―	△65	―	△51.25
通期	1,500	21.8	7	―	5	―	1	―	0.79

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

平成26年３月期の業績予想における１株当たり当期純利益については、平成25年10月１日に予定している株式分割が平成26年３月期の期首に行われたと仮定して算出しております。詳細については、次ページ「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期１Ｑ	13,588株	25年３月期	13,588株
②　期末自己株式数	26年３月期１Ｑ	906株	25年３月期	906株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期１Ｑ	12,682株	25年３月期１Ｑ	12,682株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

１．本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．当社は、平成25年５月10日開催の取締役会において、株式分割の実施及び単元株制度の採用を決議し、平成25年10月１日を効力発生日として普通株式１株につき100株の割合をもって分割し、単元株式数を100株とすることとしております。

なお、株式分割考慮前に換算した平成26年３月期の業績予想は以下のとおりであります。

平成26年３月期の業績予想

１株当たり当期純利益

第２四半期（累計）△5,125円37銭

通　　期　　78円85銭

３．四半期決算補足説明資料は、平成25年８月２日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 5
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 6
（継続企業の前提に関する注記） …… 6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 6

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策により円高の是正や株価の上昇が進み景気は持ち直しつつありますが、企業の設備投資については低調に推移しております。先行きについては、政府の各種政策に景気回復への期待がかかりますが、なお海外経済を巡る不確実性は依然として高く、国内景気を下押しするリスクが存在します。

当社の主要な販売品目である国内サーバ市場においては、前年同期に比べ出荷金額、出荷台数とも減少しました。

このような状況において、当社は、独自性の高い自社製品であるマイクロサーバに経営資源を集中してまいりました。マイクロサーバの開発を継続して行い、システムインテグレータや流通事業者、付加価値再販業者などへの営業に注力しました。また、組織構造の改革を行い当事業年度より本部制を廃止し、意思決定のスピードを上げ経営効率の向上を図るとともに、経費全般の抜本的な見直しを行い、販売費及び一般管理費は前年同期に比べ減少いたしました。この結果、当第１四半期累計期間の売上高は214百万円（前年同期比22百万円・9.4%減少）と前年同期に比べ減少し、営業損失は80百万円（前年同期は営業損失98百万円）、経常損失は80百万円（前年同期は経常損失99百万円）、四半期純損失は80百万円（前年同期は四半期純損失103百万円）となりました。

品目別の売上高動向につきましては、次のとおりであります。

（自社製品コンピュータ）

マイクロサーバについては、売上高は前年同期と比べ減少したものの、前事業年度に出荷を開始した「Ｏｐｅｎ Ｂｌｏｃｋｓ Ａファミリ（オープンブロックス エーファミリ）」への移行が進み、また、付加価値の高いアプライアンス製品の販売が増加し、粗利益では前年同期を上回りました。サーバ（ＩＡサーバ）・ストレージについては、既存顧客を中心とした販売を行い、前年同期に比べ売上高は減少しました。この結果、自社製品コンピュータ全体の売上高は前年同期と比べ減少し、売上高は73百万円（前年同期比22百万円・23.1%減少）となりました。

（コンピュータ関連商品）

オンライン販売サイトの売上が前年同期と比べ増加しましたが、法人営業販売が減少し、コンピュータ関連商品全体の売上高は前年同期と比べ減少しました。この結果、売上高は112百万円（前年同期比2百万円・2.0%減少）となりました。

（サービス・その他）

マイクロサーバに係るサポートサービスについては、前事業年度以前からの繰延額のうち当第１四半期累計期間に帰属する売上の計上により、前年同期に比べ増加しました。サーバ（ＩＡサーバ）・ストレージの延長保守サービスについては、大口の年間保守契約が継続して受注となり、サービス・その他全体の売上高は、前年同期と比べ増加し、28百万円（前年同期比2百万円・8.4%増加）となりました。

なお、上記の各品目に含まれるマイクロサーバに関連する売上高（本体、サポートサービス、オプション品など）は55百万円（前年同期比8百万円・12.7%減少）であります。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期会計期間末の資産については、現金及び預金の減少98百万円、売掛金の減少60百万円等により、前事業年度末に比べ134百万円減少し、1,883百万円となりました。

負債については、買掛金の減少50百万円等により、前事業年度末に比べ53百万円減少し、239百万円となりました。

純資産については、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少80百万円等により、前事業年度末に比べ80百万円減少し、1,643百万円となりました。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第１四半期累計期間の業績は概ね予想の範囲に推移しており、平成25年５月10日付当社「平成25年３月期 決算短信（非連結）」において公表いたしました平成26年３月期通期業績予想に変更はありません。

当社は、経常損益の黒字化を実現するために、顧客のニーズを徹底的に拾い上げることで製品・サービスに磨きをかけ、今後市場が大きく拡大すると見込まれるマイクロサーバ市場に引き続き注力してまいります。前事業年度に出荷を開始したマイクロサーバ「ＯｐｅｎＢｌｏｃｋｓ Ａファミリ」は、検証段階の製品購入から本格的な採用段階へと進むものと見込まれます。アプライアンス製品についても、協業企業との連携をさらに強化しラインナップを充実させてまいります。

また、販売費及び一般管理費は、一層の削減を実行し当第１四半期累計期間においてその効果の一部が出ておりますが、第２四半期以降により多く反映される見込みであります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、継続して営業損失及びマイナスの営業キャッシュ・フローを計上し、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。しかしながら、当第１四半期会計期間末において借入金は無く現金及び預金1,429百万円を保有し、必要な運転資金を確保していることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、財務諸表への注記は記載しておりません。

当社は、経常損益の黒字化を達成し当該状況を解消する為、以下の諸施策を実施してまいります。

①マイクロサーバの開発と販売拡大

当社は、付加価値の高いマイクロサーバに経営資源を集中しており、マイクロサーバの販売拡大が黒字化の必須条件となっております。マイクロサーバは、小型、省電力、高耐久性などの特長を備え、既に通信事業者、システムインテグレータ及び地方自治体などに採用されて、ネットワーク監視・品質管理、アクセス制御、各種基本機能サーバのような豊富な活用事例があります。さらに製品と技術を顧客に志向するためマーケティング力を高め、継続的な大口受注先を確保するとともに、他社との協業や提携を積極的に行いアプライアンス製品や新製品の開発を継続し、新たな市場を開拓してまいります。

②組織構造の改革

平成25年４月から本部制を廃止し、スリムな組織、意思決定が速い組織とし、経営効率を上げてまいります。また、役員報酬をはじめとしてあらゆる経費を抜本的に見直すとともに一層の業務の効率化を行い、既に前事業年度において削減した販売費及び一般管理費をさらに削減してまいります。

４．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,527,638	1,429,067
売掛金	163,556	103,421
商品及び製品	11,828	19,931
原材料	127,729	124,972
その他	38,033	63,755
流動資産合計	1,868,786	1,741,149
固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	101,107	94,642
その他	47,747	47,747
投資その他の資産合計	148,855	142,389
固定資産合計	148,855	142,389
資産合計	2,017,641	1,883,538
負債の部		
流動負債		
買掛金	141,211	90,635
未払法人税等	9,979	3,885
賞与引当金	17,284	25,746
製品保証引当金	1,447	1,408
その他	97,969	91,832
流動負債合計	267,891	213,507
固定負債		
退職給付引当金	17,244	17,873
その他	8,500	8,500
固定負債合計	25,744	26,373
負債合計	293,636	239,880
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,628	2,019,628
資本剰余金	158,329	158,329
利益剰余金	△290,654	△371,629
自己株式	△158,329	△158,329
株主資本合計	1,728,973	1,647,998
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4,968	△4,340
評価・換算差額等合計	△4,968	△4,340
純資産合計	1,724,004	1,643,657
負債純資産合計	2,017,641	1,883,538

（２）四半期損益計算書
（第１四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	236,652	214,517
売上原価	162,372	146,974
売上総利益	74,280	67,542
販売費及び一般管理費	172,592	147,981
営業損失（△）	△98,312	△80,438
営業外収益		
保険配当金	222	220
為替差益	－	586
その他	102	0
営業外収益合計	324	806
営業外費用		
為替差損	403	－
投資事業組合運用損	683	1,039
営業外費用合計	1,087	1,039
経常損失（△）	△99,074	△80,671
特別損失		
減損損失	3,106	－
特別損失合計	3,106	－
税引前四半期純損失（△）	△102,181	△80,671
法人税等	950	302
四半期純損失（△）	△103,131	△80,974

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。